

"右手の練習" (ボウイング)

・ボウイング練習

ボウイングは弦楽器を弾く上で、最も重要なテクニックです。

ここでは開放弦を使って右手の練習に挑戦です。経験者の人も復習をしてみましょう！

”初心者の人へ”

弓の持ち方は大丈夫かな？弓と弦は垂直になっているかな？弓先が下がっていないかな？

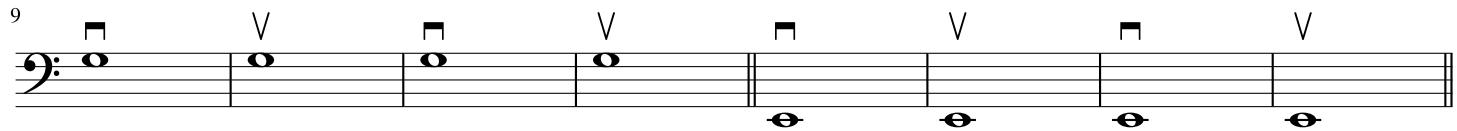
まずは音を出す前のセッティングで確認していきます。

よし！大丈夫だ！と思ったら音を出してみましょう。

弓元から弓先までのスピードは均一になっているでしょうか。

途中で弓のスピードが変わらないかな？弓のスピードが変わると音程が変わってしまいます。

チューナーの針を真っ直ぐの状態から動かさないように、ゲーム感覚で取り組むのも良いと思います。



《弓の使い方=息の使い方》

と言われるように、他の楽器と合わせる時はしっかり呼吸を取るのを忘れないに。

基礎練習のときから意識していきましょう。

音色と音量を決めるために大切な三つのこと

1. 弓は弦のどこを弾くか(指板寄り～駒寄り)
2. 弓にどのくらいの圧力をかけるか
3. 弓はどのくらいの量を使うか(弓のスピード)

この三つの要素を組み合わせ、様々な音色・そして音量で弾けるように取り組んでみてください。
そして、弦楽器も呼吸が大切です。曲のテンポで呼吸が取れるように心がけていってくださいね。

各弦を全弓で弾いたら二分音符や四分音符でも弾いてみよう！



Musical notation for measure 29. The staff is in bass clef. The notes are: square, V, square, V, square, V, square, V, square, V, square, V. There are two double bar lines with repeat dots.

二分音符や四分音符でも弓を全部使って弾けるかな？

また、全音符=全弓 二分音符=1/2(半弓) 四分音符=1/4(弓元・弓先)など

弓の量をコントロールして弾いてみよう。

弦楽器の音を作る三要素を忘れずに、弓の配分や弾く場所にも気をつかってみよう！

・移弦の練習

移弦とは...読んで字の如く、今弾いている弦から他の弦へ移ること。

移弦は腕全体で行います。肘が曲がらないように、しかし真っ直ぐ伸ばしすぎないように。

自然に腕を伸ばした状態で自然体で、楽に。

Musical notation for string changes. The staff is in bass clef. It shows a sequence of notes: square, V, square, V, square, V, square, V, square, V. The notes alternate between different strings.

滑らかで、弓の返しがわからないスムーズな移弦ができましたか？

- ・弓を返すときにアクセントがついてしまう。

- ・なんか上手くいかない...orz

なんて人には下の方法で練習してみてください。楽譜に書かれている休符の長さはあくまで目安。はじめは長く休んで、この休符の中で移弦の準備・目で確認をします。

弓と弦は垂直になっているかな？確認ができたら弾き始め、次第に休符の長さを短くして最後は休符がなくなり元の楽譜通りに弾けるように。

弓が弦をとらえた感覚を掴んでみてください。さあ、やってみよう！

Musical notation for practicing string changes with rests. The staff is in bass clef. It shows a sequence of notes: square, V, square, V, square, V, square, V, square, V. The notes are preceded by rests of increasing length.

移弦の練習、上手くできましたか？

自分の視界に入っていない場所というのは中々思い通りに動いてくれません。

自分の弾いている姿を自分で確認するのは難しいので、鏡や窓に映った自分の弾いてる姿を見ながら練習するのもよいでしょう。誰もいない時は自分自身が先生です、鏡に映る自分の弾き方を見て、自分自身にアドバイスをする、そんなイメージで。

パートに仲間がいる時はお互いが向かい合ってボウイング練習をしてみてください。

そして、お互いの良いところを盗む、これが大切です。

(鏡よ鏡、世界で一番美しい弓使いをするバス弾きはだあれ?) とそんな感じです。